

ヨコ顔

会員が順次登場します

森(よっ)さん

ウソの言えない正直な男、ファンは多い。麻雀は最高の趣味、大きな手がやってくると周囲に察知される？ 3年前、運悪く大病。ここからが凄い！ 近くの公園でリハビリを兼ねラジオ体操を始めた。人懐っこい笑顔で仲間を増やし今やリーダー格。宝くじを当て、皆さんを日本一周の旅に連れて行く、というでっかい夢を持っている。長生きして欲しい。ホタル便り編集委員でありドラキチ君。(H)



笑美子(えみこ)さん

名前のおお笑顔がとても温かくて、みんながファンになる。越後・長岡近くの出身。一時歩けないほどの脊柱管狭窄症に苦しんだが、手術で乗り越え、毎日の散歩、畑の草取りなど、働き者と言ったらこの人の右に出る人なし。作る野菜もまた絶品、こちらも多くのファンが待ち構えている。お花見にご馳走してくれる「菊の花漬け」はまさに越後おふくろの味です。長年ホタルの会を応援してくれている、小柄だけどとても大きな存在です！(昌)



ワンコインのお礼

ワンコイン箱に寄せられたご寄付を今年はこの「ホタル便り」の発行の一部に使わせていただきました。ほの暗いホタルの里で、よくぞワンコイン箱を見つけてくれました！
皆さまが「ホタル便り 20号」の sponsor です。
ありがとうございました！(幸代)



応援団(会員)募集中

年会費 1000 円

(義務は何も発生しません)

1. ホタル便りをお届けします
2. ホタルが飛んだらお知らせします
3. イベント情報をお知らせします

【連絡先】折戸川にホタルを飛ばそう会
代表：後藤和正 電話 0561-72-3158

ホタル だより

from 折戸川にホタルを飛ばそう会

(愛知県日進市) 第20号: 2022/8/15(不定期発行)



折戸川の里 折戸西橋 撮影=浅岡光子 2022-05-28 19:40



折戸川中流・下流全域に飛んでいます



折戸川の里 撮影=浅岡光子 2022-05-29 21:31

秋～来年 主な行事予定

ゴミ拾いウォークの**集合場所は「ホタルの里」**です。
終了後、現地解散 (1Pの地図参照)
土曜朝の散歩をかねて、どなたでも気軽にご参加ください。

09/24	(土)09:00~10:00	ゴミ拾いウォーク
10/22	(土)09:00~10:00	ゴミ拾いウォーク
11/12	(土) ESD 事業 折戸川 GOMI 拾い大会	
	10:00:00~11:30 (10月広報で募集します)	
12/24	(土)09:00~10:00	ゴミ拾いウォーク
01/21	(土)09:00~10:00	ゴミ拾いウォーク
02/25	(土)09:00~10:00	ゴミ拾いウォーク
03/11	(土)09:00~10:00	ゴミ拾いウォーク
03/中下旬		幼虫放流会(2月広報で募集予定)

折戸川にホタルを飛ばそう会

編集後記

発足18年、ホタル便りも20号を迎えました。PC編集の前半は英夫さん、後半は満智子さん。手作りからオンライン制作へ、11号からは全面カラーへ。前号からカメラマンは光子さん。編集室も女性に支えられています。今まで編集に携わった人は20名、印刷部数は創刊当初の300部から今は3000部。反響も出てきました。

小学校への出前授業(3P~4P)は子供さんの関心が高く、毎号力を入れています。特に今年は市長、教育長の参加もあり、担当者は大奮闘。じっくりご覧ください。

編集長 土方博(0561-72-2027)
PC編集 飯塚満智子
編集委員 幸雄 義夫 昌子 光子

日進市の宝

「蛍の光」の歌に漂うものさびしい感じが、従来の蛍に対する個人的な印象でした。中学生の林間学校、学生時代を過ごした北の開拓地、一時勤務した名古屋市内等、様々な地で蛍を目にしましたが、そのいずれも訪ねた先の風景として、従来の印象を大きく覆すものではなかったように思います。

ところが今、地元住民として初めて折戸川に飛ぶ蛍を見た時、そこには、熱気にも似た輝きのある状況があったのです。明滅する蛍を見に集う人々の姿や交わされる挨拶は温かみを帯び、口にされる会話はふるさとへの愛着を感じられるものでした。

自らが暮らす土地に、この様な人々の思いが集まる場所があるということに新鮮な驚きを感じるとともに、この人々と思いが集まる場所が日進市の宝として守り、育むものであると改めて感じました。折戸川の「蛍の光」は、愛と明日への希望に満ちた音色だったのです。

犬飼啓貴(日進市勤務 日進市消防団折戸分団令和4年度分団長)

3月16日
幼虫放流会



ホタルの幼虫

保育園の年長さんが頑張ってホタルの里まで歩いてきました。幼虫とカワニナの入ったカップを手に「大きくなってね」と声をかけて川に流しました
(加代子)



6月1日
ホタル観賞会



結菜 作画

「こんなに近くでホタルを見られて良かった！」子供の手にホタルをのせると「ほらほら手の中で光っているよ！」家族で、ご夫婦で、友達と、観賞会に来ていただきありがとうございます。皆さんの嬉しい言葉と笑顔が、スタッフの大きな力になります。
(菊栄)



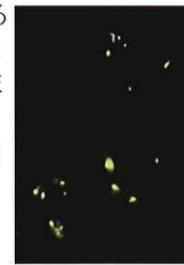
♪~~子供会から以下、原稿が届きました~~♪

6月4日(土)、楽しいホタル観賞会、総勢45名の参加がありました。あっという間に予定の1時間。最後まで残っていたのは1年生の女の子。帰ろうと離れても、もう1回見る！を何度も繰り返したそうです。
(藤塚第三子供会)

ECO35 ホタル観賞会



6月3日 ECO35 で今年もコロナ禍のため昨年同様本社勤務とその家族を対象に44名の方に参加頂きホタル観賞会を開催しました。一部では ECO35 でのホタル飼育紹介やホタルの生態を紹介し、二部ではホタル小屋での飼育の説明とピオトープに出て自然発生したヘイケボタル30~40頭の観賞を行いました。参加者はコロナ禍で外に出る機会が減っていましたが、闇夜のホタルの光を見て感動の声が上がり、子供たちはホタルの光るのを食い入るように興味を示してくれました。
(吉原義仁)



♪ホーホーホタルこい、蒔生の水も甘いぞ♪



昔の蒔生にはヘイケボタルはどこでもいましたが、今は細々と命をつないでいます。子や孫にも地元のホタルを見せてやりたい。蒔生の天然ヘイケボタルの成虫4頭を飼育箱にお迎えし、卵を産ませ、280頭の幼虫を育てることができました。来年のために飼育用に残して蓮田に放流したところ、10頭ほどの成虫を見ました。飼育箱の中では9割が羽化したところを見ると、蓮田の環境がホタルにとって厳しいのか、それともこんなものなのか？ 来年の放流目指して幼虫を数えながら、飼育仲間とワクワクしています。
(加藤志津香)



長久手のホタル



今年のホタル飛翔はヘイケ、ゲンジとも最悪の結果でした。それでも炭焼き活動をしている安立さんが当クラブに入会され、炭焼き窯のある所でホタル飼育に成功しました。また、2年前よりマンションの中庭でヘイケを飛ばしている田中さんも折戸川さんに指導を受けて10年の間に長久手で三ヶ所ホタルが飛ぶ様になりました。それと小学生の兄弟とお母さんが見学にみえてホタルの里親制度を説明したところ、ぜひホタルを育てたいと申し出がありました。地元の子供がホタルに興味を持ち飼育してもらえ、今年一番の嬉しいニュースです。
(水野浩)



四代でホタル観賞

東山の二家族、2~3歳児4人。掌にホタルを乗せ大興奮「また こんどくる」「また こんどくる」顔を見て、たどたどしい幼児語で喜びを精一杯表現。わが子の喜びを見て「やっぱりゴミ拾いも来ないといけないよネ、HPに載っていた」とお母さんの声もうれしい。

長崎県から名古屋へ就職、3人の子供さんに恵まれ、爺ちゃん、お婆ちゃん、お孫さん、おひい婆ちゃんを連れてくるのはお孫さん。「毎年、四代でホタル観賞するのが最高の楽しみ、ありがとうございます。元気で来年も来たい」と何度も頭を下げられた。乾杯！



また こんど くるね!

ママ友同士が「私たち3年の時、南小でホタルの勉強をしたよねー。そして昨日、娘が同じ勉強をしたので見に来ました」と、4人で大盛り上がり。このカッコイイお母さんたちは何歳だろう？ ホタルの会が発足して18年、歴史の重みを感じ、思わず指を折ってしまった。



パパのご飯は美味しい

あいりちゃん、今日で3日目。なぜ光るの、光るところ1本、2本？ 詳しい質問が飛ぶ。出前授業の影響が大きい。パパはご飯づくりに帰った。パパのご飯はとってもおいしい。ママは作らないの？と聞くと「土日はパパの当番です」とママの声が飛んできた。ナルホド、頑張れ！



母娘で同じ出前授業

蛍俳壇 ～ホタル俳句乱舞～

百歳の母遊き給ふ日螢舞ふ(国弘)
 土手青む折戸の右岸我がちに(憲明)
 欄干にもたれ親子のはたる川(昌子)
 幟立つことしの螢見に來いと(明子)
 鯉はねる紺のあしさい折戸川(宏)
 川沿ひは子の通園路はたるとぶ(三津子)
 折戸川星の空より散る螢(道代)
 ホタル狩り列の進まぬ田んぼ道(正克)
 母に添ふ今年も螢折戸川(美好)
 源平の螢合戦折戸川(洋剛)
 螢火の明滅追うて更けにけり(學)
 我が町の古き小川や螢狩(史郎)
 宇治十帖 繡く夕べ螢舞ふ(良平)
 騒がしき子等の沈黙はたるの夜(定)
 螢狩待ち合はするは野方橋(敏江)
 螢狩空を撫で行く竹箒(淑子)
 螢てふ小さき命の闇を統ふ(愛子)
 せせらぎの音に合はせて舞ふ螢(八重子)
 漂ひて源氏螢の闇夜かな(美恵子)
 鬼太郎の通る小道や螢の夜(夏子)
 はたとせ
 二十年や育て増やせし螢舞ふ(みき江)
 青白き光の乱舞螢飛ぶ(昴)

産卵用ホタルかご

娘が初めて蛍をみまして、クリスマスツリーだね。と言っておりました。現地に絶対行こうと思います。カーテンを開けて月の光が当たっていましたが、12時過ぎて私が寝るまで動いて光っていました。

(和代)

「蛍の墓」とゆう映画を見てから、容器に沢山入れて、こうして観るのにずっと憧れてました。

夢のようです！

(舞雪子)



【大事そうに産卵かごを抱えたあおと君☺】



【このかごの中で親ボタルが産卵しています】

野方友愛クラブ ホタルの里で研修



いろいろ説明して頂き楽しかった。出前授業やごみ拾い、シーズン中の現地案内など有難うございます。生き物を育てるということは1年間ずーっと見守って、自然作ってやるということ、大変ですが楽しいことですネ。ゆっくり時間をかけないとやれないことばかりです。今後もまた、見学させて頂きます。

(川合)

にしん ESD 事業 今年もやります！ GOMI 拾い大会

日にち: 2022.11.12(土) 場所: ホタルの里 時間: 10:00~11:30



昨年の GOMI 拾い大会の様子



気になっていた近くのゴミ集積所をきれいにして参加。子供たちがゴミ拾い好きになりました！



家の周りや気になる所のゴミを拾ってホタルの里に集合～折戸川ゴミ拾いウォーク～抽選会

募集 は10月広報にしんをご覧ください！ (中川)

三本木川でも飛んでいます “優しい光”



折戸川の蛍が見ごろになった数日後、三本木川の源氏螢が飛び始めます。橋から眺める蛍の乱舞には見惚れてしまいます。師匠の手ほどきをいただき、撮影した写真です。今年も蛍を見て癒されました。

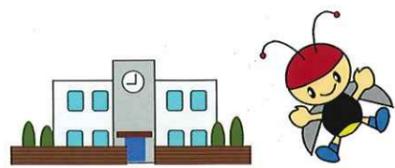
(永井美智子)



「三本木川ホタル」愛知中央ライオンズクラブは平成11年、環境保全の一環として日進市三本木川の清掃、ホタルを呼び戻す活動を始めました。

有志が幼虫を飼育、近くの保育園児と一緒に放流、ゲンジボタルが飛び、餌のカワニナが棲みついたのを確認して10年前活動を停止。その後自生し、今年もいっぱい飛んでくれました。

(福岡幹雄 談)



にっしんESD事業 小学校出前授業

ホタルの一生と川の環境



南小 3年5クラス 179名なんと！全員の手が上がる！



へイケボタルの幼虫を毎年2,000頭以上育てる寺ちゃん



ピカチャンのこのズボンはペットボトルチップでできているんだって！



ゲンジボタルの産卵・孵化(ふか)の達人タカちゃん！



人生初めて！ホタルの幼虫さわるって

梨の木小 3年4クラス 120名 みんなビックリするほどよく知っている！私たちも勉強します😊



西小 4年4クラス 126名

ホタルにも環境にも探求心旺盛です！

みんなでSDGsしましたね！



めざせ！西小から科学者！
未来につなごう、日進の生き物



竹の山小

3年2クラス 69名
タブレット学習が当たり前、
幼虫だってこんなに大きく
見えるよ！



2000キロを旅する蝶・アサギマダラに詳しいマチコさん

お姉さんとプラゴミの問題、真剣に話しました！



東小 3年3クラス 93名
今日考えたSDGsは？
ハイハイハイ！陸の豊かさ・海の豊かさ・使う責任……



ゴミのことこんなに考えたのはじめてかも？

北小 3年4クラス 128名



6月6日の開催 ホタルシーズン終盤だから生まれたての幼虫2mmくらいを見ることができた



相野山小 3年2クラス 45名

市長・教育長もいっしょに日進の生き物を再発見！

撮影：浅岡 光子

